

川崎市も“中学校卒業”までのこども医療費を無料にしましょう！所得制限もなくそう！

## ☆川崎市の助成状況は？ (2020年4月現在)

県内33自治体中、31自治体は  
最低でも「中学校卒業」まで助成。

川崎市と湯河原町だけが

いまだに「小学校卒業」までの助成にとどまる。



しかも、川崎市では小学4年生から  
1回の受診につき最大500円の窓口  
負担が存在。

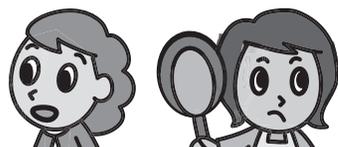
窓口負担があるのも、県内では川崎市のほかに、横浜市、  
相模原市、茅ヶ崎市の4市のみ。

## ☆500円といえども窓口負担は大変!!

子どもが3人いますが、それぞれに慢性の病を抱えており、1回500円でも、毎週通うと出費が重いです。

〈川崎区〉

### 保護者の声



子どもは感染症などにもかかりやすいので、中学生まで無料にしてもらえると助かります。毎回お金がかかってしまうと、家庭の負担が多く、病院に行くのをためらってしまうとおもいます。

〈幸区〉

### お医者さんの声



1回の受診につき“最大500円”の負担金があることで、当院では思わぬ事態が。保護者から「1回(500円)で、なるべく多くの歯を治してほしい」との求めが増えたのです。相手が子どもであれば、何本もの虫歯を一度に治すことでの肉体的・精神的ストレスを考えなければなりません。数百円の負担といえども、影響は大きいです。

〈中原区開業・二村哲先生(歯科医師)〉

## ☆なにかと問題が多いですね…

はい。その上、**所得制限**  
というハードルもあるんです！



所得750万円で  
お子さん3人ですが  
…助成対象外です

税金を  
納めているのに!?

逆差別？

本来、小児医療費助成制度の趣旨は、「経済的格差なく安心して受診できる環境整備」。制度の充実は、こどもの健康を支えるだけでなく、市の未来を支える人材育成にも繋がります。署名への皆様のご理解とご協力をお願いします。